

# フォト句会 2026年4月度成績

開催日：4月7日(火)

時間：15時30分～17時30分

出席者：7名

写真出題：清水

付け句 お題写真; 京都 龍安寺の石庭(出題; 清水)



# 付け句 「龍安寺の石庭」 出題：清水

- 1) 借景の 枝垂れ桜や 枯山水 中村 晃也  
塀の外の満開の桜が、石庭と見事に調和している。
- 2) 黙想す 波打つ磯に 散る桜 松田 昌康  
石庭を磯に見立て、そこへ桜が散る光景を想像した。
- 3) 春爛漫 枝垂れ桜の 色香かな 長尾 進一郎  
桜の花が石庭に色を添え、互いに引き立てている。

# 自由題



卒業を見守る母の  
眼に涙（正二）

年長は皆と遊ぶの  
あと僅か（正こ）





下町に桜が咲いて  
江戸情緒（勝）

# 自由題 寸評

1) 卒業を見守る母の目に涙 矢澤 正二

卒業式を終えた女学生に、ひとりの母親が声をかける。

2) 年長は皆と遊ぶのあと僅か 矢澤 正二

幼稚園の卒業を控えた年長組は、友達との別れが待つ。

3) 下町に桜が咲いて江戸情緒 清水 勝

街並みの模型、遠くの桜が春の雰囲気醸し出す。